

文部科学大臣杯 第20回日本車椅子ハンドボール競技大会 試合結果

令和4年9月18日（日）

※台風14号の影響を考慮し、準決勝・3位決定戦・決勝を初日に繰り上げ、敗者戦を交流戦として翌日実施した。

試 合 結 果 一 覧				
9 月 18 日 (日)	1回戦	車椅子ハンドボール チー ム A c r o	26	$\begin{pmatrix} 12 & - & 6 \\ 14 & - & 1 \end{pmatrix}$ 7 B - l o u p
	1回戦	T o p s	16	$\begin{pmatrix} 8 & - & 12 \\ 8 & - & 7 \end{pmatrix}$ 19 大 阪 体 育 大 学 A P E S - A
	1回戦	大 阪 体 育 大 学 A P E S - E	16	$\begin{pmatrix} 9 & - & 9 \\ 7 & - & 8 \end{pmatrix}$ 17 すわっちゃ〜ず
	1回戦	京都伏見スパローズ	10	$\begin{pmatrix} 4 & - & 15 \\ 6 & - & 11 \end{pmatrix}$ 26 T e a m n o r t h e a s t
	2回戦	大 阪 体 育 大 学 A P E S - P	16	$\begin{pmatrix} 11 & - & 6 \\ 5 & - & 11 \end{pmatrix}$ 17 車椅子ハンドボール チー ム A c r o
	2回戦	大 阪 体 育 大 学 A P E S - A	21	$\begin{pmatrix} 12 & - & 8 \\ 9 & - & 8 \end{pmatrix}$ 16 宮 城 フェ ニ ッ ク ス
	2回戦	ド リ ー マ ー ズ	14	$\begin{pmatrix} 6 & - & 11 \\ 8 & - & 9 \end{pmatrix}$ 20 すわっちゃ〜ず
	2回戦	T e a m n o r t h e a s t	17	$\begin{pmatrix} 9 & - & 9 \\ 8 & - & 10 \end{pmatrix}$ 19 大 阪 N R F
	準決勝	車椅子ハンドボール チー ム A c r o	17	$\begin{pmatrix} 7 & - & 10 \\ 10 & - & 9 \end{pmatrix}$ 19 大 阪 体 育 大 学 A P E S - A
	準決勝	すわっちゃ〜ず	17	$\begin{pmatrix} 10 & - & 5 \\ 7 & - & 5 \end{pmatrix}$ 10 大 阪 N R F
	3位 決定戦	車椅子ハンドボール チー ム A c r o	13	$\begin{pmatrix} 6 & - & 9 \\ 7 & - & 8 \end{pmatrix}$ 17 大 阪 N R F
	決勝	大 阪 体 育 大 学 A P E S - A	20	$\begin{pmatrix} 11 & - & 10 \\ 9 & - & 9 \end{pmatrix}$ 19 すわっちゃ〜ず

各試合の戦評は下記の通りです。

文部科学大臣杯 第20回日本車椅子ハンドボール競技大会 試合結果

令和4年9月18日（日）※台風14号の影響を考慮し、準決勝・3位決定戦・決勝を初日に繰り上げ、敗者戦を交流戦として翌日実施した。

〔1回戦 第1試合〕

車椅子スポーツチームAcro（大阪府） 26（12-6, 14-1）7 B-loup びわこリハビリテーション専門職大学（滋賀県）

B-loupのスローオフで開始。巧みなパス回しから8番安田のシュートで先制。Acroも25番中村のシュートですかさず同点とする。その後、Acro8番 斉藤、B-loup5番 田中のシュートで2-2、一進一退の攻防が続く。5分過ぎから、AcroのGK30番 歴舎（敦）のナイスセーブからの速いオフェンスで26番 宮原のシュートで5-3と2点リードする。その後も、Acroは1番 歴舎（望）のアグレッシブなトップDFでB-loupのオフェンスにプレッシャーをかけ、オフェンスでは26番 宮原、56番 上原らで得点を重ね、前半を12-6とし折り返す。

後半も開始早々、Acroは1番 歴舎（望）を中心としたアグレッシブなDFが機能し、失点を防ぎ、その間に3連取し、15-6とし試合を決める。B-loupも、87番 GK大西のナイスセーブ、00番 東のシュートで粘りを見せるも、26-7でAcroが勝利を収めた。

【審判：浅野・宮本 TD：佐藤・青砥 タイムキーパー：金澤 スコアラー：高橋 戦評：阿部】

〔1回戦 第2試合〕

大阪体育大学 APES-A（大阪府） 19（12-8, 7-8）16 Tops（大阪府）

APES-Aのスローオフで試合開始。APES-A 7番 若杉、18番 大本と連続でゴールポストに阻まれるが、リバウンドをどちらもAPES-Aが拾い、7番 若杉が決めて先制。Topsのファーストシュートは、1番 高山。ゴールは奪えず、逆にAPES-Aが得点し、0-2となる。Topsは巧みなパス回しで8番 松本がシュートするもGKに阻まれる。なかなか得点できないTopsだが、DFが機能し得点を許さず、1番 高山が初得点。APES-Aは、GKがオフェンスに参加し数的優位を活かして得点を重ねる。2-5と3点差になったところで、Topsがタイムアウトを申請。その後は一進一退の攻防が続く、両GKのファインセーブもあり、3点差が変わらず。前半終盤にAPES-Aがパスカットから速攻を決め、8-12、APES-Aが4点リードで前半終了。

後半は、お互いに得点を奪い合う展開が続く中、TopsのGKがファインセーブを連発し、後半9分に15-15の同点となる。APES-Aは、23番 関野を再投入し攻撃力を上げた作戦が当たり、23番 関野の連続ゴールでTopsを突き放す。Topsはチームタイムアウトを取り、立て直しを図るが点差を縮めることができず、16-19でAPES-Aが勝利した。

【審判：佐藤・青砥 TD：中島・児玉 タイムキーパー：木皿・大場 スコアラー：加藤 戦評：桑名】

〔1回戦 第3試合〕

すわっちゃ〜ず（大阪府） 17（9-9, 8-7）16 大阪体育大学 APES-E（大阪府）

前半、すわっちゃ〜ずのスローオフで試合スタート。両チーム共に、パスワークからのポストへのボール回しで得点を重ね合った。APES-Eは、15番森下、9番豊田がポストシュートを確実に決めリード。すわっちゃ〜ずも負けじとGK8番山本がシュートを決め、同点に追いつく。その後、両チームとも一進一退の攻防が終盤まで続き、9-9の同点で前半を折り返す。

後半、APES-Eのスローオフで始まり、3連続得点で試合の流れをつかむ。一方的な展開で進むかと思ったが、すわっちゃ〜ずGK山本が再三の好セーブを見せ、点差を縮めるキッカケとなる。後半10分、すわっちゃ〜ず9番谷村が同点となるポストシュートを決める。その後、終了まで1点をめぐる攻防が続く。終了1分前、すわっちゃ〜ず1番大久保がシュートを決め、逆転。残り時間を守り切り、すわっちゃ〜ずが1点差で勝利した。

【審判：尾形・佐藤 TD：浅野・宮本 タイムキーパー：川端 スコアラー：廣川 戦評：佐藤】

〔1回戦 第4試合〕

T e a m N o r t h e a s t（宮城県） 26（15-4, 11-6）10 京都伏見スパローズ（京都府）

スパローズのスローオフでスタートした試合は、開始早々、スパローズ4番小坂のゴールで試合が動く。対するnortheastも4番今田、2番佐藤の連続ゴールで逆転。その後、激しい攻防が続く中、5-2とリードするnortheastが7分30秒からの2分間で4連取し、スパローズを突き放す。その後も、3晩小野から4番今田への鮮やかなサイドチェンジパスからのサイドシュート。1番青柳の華麗なループシュート等で一気に流れをつかみ、前半15-4と大きくnortheastがリードして終える。

お互い得点し合う形で始まった後半は、northeastの息の合ったコンビネーションプレーで得点を積み重ね、7分、21-7と大量リード。スパローズも、1番GK堀の連続ファインセーブで盛り上げるも、終始リードを保ったnortheastが26-10で快勝した。平均年齢50歳を超えるスパローズの積極果敢なプレー、アグレッシブなプレーが観客と勇気・感動を共有できるゲームであった。

【審判：中島・児玉 TD：佐藤・青砥 タイムキーパー：金澤 スコアラー：高橋 戦評：阿部】

[2回戦 第1試合]

車椅子スポーツチーム Acro（大阪府） 17(6-11, 11-5) 16 大阪体育大学 APES-P（大阪府）

APES-P は、スローオフで試合開始後、左右にゆさぶるパスワークから4番米田のシュートで先制。Acro もチームワークよくパス回しかからゴールを狙うが得点できない。APES-P がフリースローから5番横井が意表を突くシュートで2-0 とリードする。Acro は30番G K歴舎（敦）からの巧みなパスで1番歴舎（望）が初ゴール。その後、Acro は巧みなパスワークからシュートチャンスを作るもゴールポストに阻まれ得点できない。その間にAPES-P は得点を重ね5-1 とリードを広げる。Acro はチームタイムアウトを取り、落ち着きを取り戻すと26番宮原が得点。その後は両G Kのファインセーブも光る中、APES-P が中央から得点を重ね、11-6 と5点リードで前半を折り返す。

後半は、お互いに得点を重ねるが、Acro30番歴舎（敦）がファインセーブを連発し、一気に試合の流れがAcro へ傾く。15-12 と3点差となったところでAPES-P がチームタイムアウトを取るも流れは変わらず、Acro30番歴舎（敦）がオフェンスでのパワープレーでシュートを決めて15-15 の同点に追いつく。APES-P は、前半活躍した24番竹下を再投入するも流れを変えることができず、Acro8番斉藤が逆転ゴールを決める。APES-P は必死にゴールを狙うが、Acro30番歴舎（敦）の鉄壁に阻まれ、16-17 でAcro が逆転勝利を収めた。

【審判：佐藤・青砥 TD：中島・児玉 タイムキーパー：木皿・大場 スコアラー：加藤 戦評：桑名】

[2回戦 第2試合]

大阪体育大学 APES-A（大阪府） 21 (12-8, 9-8) 16 宮城フェニックス（宮城県）

前半、フェニックスのスローオフでスタートしたが、そのシュートミスでAPES-A が先制ゴールにつなげる。フェニックスは相手の積極的なD Fに苦戦して攻めあぐむ中、APES-A が着実に得点を重ね、前半6分、7-3 とリード。一方、フェニックスは1番差波のミドルシュートによる連続得点で追いつこうとするが、APES-A8番G K河田が好セーブを見せ、フェニックスの猛攻を防ぐ。APES-A7番若杉がポストシュートを決め、点差は縮められぬまま12-8 で前半を折り返す。

後半、両チームとも序盤から1点をめぐる激しい攻防が続く。APES-A は8番G K河田が前半に続き好セーブを見せ相手チームに得点を許さない。一方、フェニックスは、1番差波と2番南部を中心に、パスワークを繰り広げ、得点に結びつける。一進一退の攻防が続く中、試合終了間際、APES-A0番吉本がシュートを決め21-16 でAPES-A が勝利した。

【審判：浅野・宮本 TD：尾形・佐藤 タイムキーパー：原田 スコアラー：今野・嶋田 戦評：佐藤】

[2回戦 第3試合]

すわっちゃ〜ず（大阪府） 20(11-6, 9-8)14 ドリーマーズ（京都府）

ドリーマーズのスローオフで試合開始。ファーストオフenseで4番真下の右サイドからのシュートで先制点をあげる。一方、すわっちゃ〜ずは5番宮下のシュートですぐに同点とする。5分、3-3の同点から試合が大きく動き出す。すわっちゃ〜ずは堅いDFで失点を押え、オフenseでは人とボールを大きく動かす戦術、さらにGK8番田中もオフense参加し着実に点を重ね、3分間で4連取し、8分20秒で7-3とリードする。ここで堪らずドリーマーズはチームタイムアウトを請求。その後、ドリーマーズは4番真下の両サイドからのシュートで加点するが、すわっちゃ〜ずも加点し、前半を11-6ですわっちゃ〜ずのリードで折り返す。

後半、ドリーマーズは9番中田、4番真下で連取。2分で8-11と射程圏内に入った。しかし、すわっちゃ〜ずは、それから7番谷村のポストシュートを含める3連取でゲームの流れを戻す。すわっちゃ〜ずは、人とボールを大きく動かすオフenseで得点を重ねる。ドリーマーズも7番樋口のカットイン、10番山本のループシュート等で粘るも、点差は縮まらず、20-14ですわっちゃ〜ずが勝利を収めた。

【審判：尾形・佐藤 TD：中島・児玉 タイムキーパー：金澤 スコアラー：高橋 戦評：阿部】

[2回戦 第4試合]

大阪NRF（大阪府） 19(9-9, 10-8)17 Team Northeast（宮城県）

NRFのスローオフで試合開始。オープニングシュートを8番馬場が決め、northeastのシュートは、NRF9番GK佐藤がセーブし、6番木下が思い切りのいいシュートを決め、NRFがリードするも、northeastは2番佐藤の力強いロングシュートなどで得点し、一進一退の攻防が続く。静かな攻防でお互いにパスをつないで攻める展開が続く中、会場内には車椅子は激しくぶつかり合う音が響き渡る。4-5と1点差に追いつかれたところでNRFがチームタイムアウトを取り、確実に得点を決め、4-6と2点差に広げる。お互いにしっかりした戦術でパスを回す展開からシュートを決めていたが、northeast5番津軽のセーブから、2番佐藤がシュートを決め、13分過ぎに8-8の同点となり、前半は9-9の同点で折り返す。

後半は、NRFがエンプティゴールを決めるなど、流れをつかみ10-13とリードする。Northeastも堅いDFからエンプティゴールを決めるなど、8分過ぎに14-14の同点となる。終始、車椅子が激しくぶつかり合う音が場内に響き渡る白熱した好ゲームは、NRF8番馬場が8得点の活躍でnortheastを19-17で退けた。

【審判：中島・児玉 TD：浅野・宮本 タイムキーパー：大場 スコアラー：木皿 戦評：桑名】

[準決勝 第1試合]

大阪体育大学 APES-A（大阪府） 19(10-7, 9-10) 17 車椅子スポーツチーム Acro（大阪府）

前半、Acro のスローオフでスタートし、8 番斉藤のミドルシュートで先制。APES-A も 8 番 G K 河田が得点し、すかさず同点とすると、APES-A 8 番 G K 河田の好セーブと、7 番若杉、19 番斉藤らの連続得点でリードする。Acro も 26 番宮原で応戦するも、試合の流れは変わらず、点差が縮まらない。前半 9 分、APES-A 23 番関野のポストシュートが決まり、10-7 と APES-A が前半リードで折り返す。

後半、APES-A 21 番山本のポストシュートが決まり、リードを広げる。Acro も 26 番宮原の連続得点で点差を縮める。後半中盤、APES-A 23 番関野が立て続けにポストシュートを決めて再びリードを広げる。両チームの好セーブで一進一退の攻防が試合終了まで続いた。結果 19-17 の 2 点差で APES-A が勝利し、決勝進出を決めた。

【審判：浅野・宮本 TD：佐藤・青砥 タイムキーパー：原田 スコアラー：今野・嶋田 戦評：佐藤】

[準決勝 第2試合]

すわっちゃ〜ず（大阪府） 17(10-5, 7-5) 10 大阪 NRF（大阪府）

大阪対決となった準決勝の前半、NRF のスローオフで試合開始。ファーストオフenseで NRF は、すわっちゃ〜ずの激しい D F に苦しむも、9 番 G K 佐藤の右サイドからのシュートで先制点を奪う。すわっちゃ〜ずも鮮やかなコンビネーションプレーで 4 番坂東がゴールを決めて応戦する。4 分、3-3 からゲームが大きく動いた。すわっちゃ〜ず 8 番 G K 山本の連続セーブの間に、8 番 G K 山本が自らの得点を含む 4 連続得点で 7-3 とする。NRF はチームタイムアウトを請求して立て直しを試みるが、相手に傾いた流れを変えることはできず、10-5、すわっちゃ〜ず 5 点リードで前半を折り返す。

後半開始直後、すわっちゃ〜ずは 2 番刈谷の連続得点で 12-5 と突き放す。しかし、NRF は、ここから 10 番佐藤のブラインドシュート、8 番馬場のロングシュート等で 3 連取し、12-8 とする。すわっちゃ〜ずは、ここでチームタイムアウトを請求。流れを修正し、9 番谷村が 7m スローを確実に決め、D F では 8 番 G K 山本が好セーブを連発し、17-10 ですわっちゃ〜ずが勝利し、決勝進出を決めた。

【審判：中島・児玉 TD：浅野・宮本 タイムキーパー：金澤 スコアラー：高橋 戦評：阿部】

〔3位決定戦〕

大阪NRF（大阪府） 17(9-6, 8-7)13 車椅子スポーツチームAcro（大阪府）

台風14号の影響を考慮したプログラム変更の都合上、試合時間10分ハーフのルールで、Acroのスローオフから試合スタート。前半、Acroは26番宮原、56番上原らのシュートなどで得点を重ねる。NRFも負けじと6番木下がポストシュートを決め、前半から得点の取り合いとなり、一進一退の攻防が続く。NRFのGK2番福島の好セーブから9番佐藤（克）が連続ゴールを決め、9-6とNRFがリードして前半を折り返した。

後半、NRFのスローオフから9番佐藤（克）がシュートを決め、点差を4点に広げる。その後もAcroは、1番歴舎（望）を中心としたパスワークでゴールを狙うが、点差を縮めることができず、17-13でNRFが勝利した。

【審判：中島・児玉 TD：浅野・宮本 タイムキーパー：金澤 スコアラー：高橋 戦評：馬場】

〔決勝戦〕

大阪体育大学APES-A（大阪府） 20(11-10, 9-9)19 すわっちゃ〜ず（大阪府）

すわっちゃ〜ずのスローオフで試合開始。相手のパスミスマイボールにしたAPES-Aが中央で手を挙げていた7番若杉にパスを通し、冷静に決めて先制する。すわっちゃ〜ずは、2番刈谷がすぐさま得点し1-1の同点とする。お互いにGKがオフェンス参加し、数的優位からブロックプレーを活かしてノーマークを作り出し、確実に得点を重ねていく。激しく車椅子がぶつかり合い、マークの声が飛び交う白熱した戦いを繰り広げる。12分、APES-A 8番GK河田が得点し、9-9の同点としたところで、すわっちゃ〜ずがチームタイムアウトを申請。その後も、お互いに一步も譲らない展開が続く。すわっちゃ〜ずが一本シュートを外した場面で、すかさずAPES-Aが得点し、11-10で前半終了。

後半開始早々、APES-A 23番関野が得点し12-10とするが、すぐさますわっちゃ〜ず2番刈谷が得点する。すわっちゃ〜ずの強烈なシュートをAPES-A 8番GK河田が連続ファインセーブで流れを引き寄せ、0番吉本が華麗なフェイントでDFを振り切り得点する。すわっちゃ〜ず8番GK山本にスーパーセーブが出るも流れは変わらず、後半8分、17-12となったところですわっちゃ〜ずがチームタイムアウトを申請。APES-Aはしっかりパスを繋ぎながら上手く時間を使って得点する。すわっちゃ〜ず8番GK山本のファインセーブから得点に繋げ、後半14分、20-18となり、APES-Aがチームタイムアウトを申請。その直後、APES-Aのミスをすわっちゃ〜ずが得点に結びつけて19-20とする。残り30秒、激しいDFをかわしてパスを繋ぎ切ったAPES-Aが1点差の熱戦を制し、初優勝の栄光を手にした。

【審判：尾形・佐藤 TD：佐藤・青砥 タイムキーパー：大場 スコアラー：木皿 戦評：桑名】

